

一 般 質 問 発 言 通 告 表

向日市議会 令和7年第2回定例会

令和7年6月5日

質問順	会 派 名 氏	質 問 事 項 (要 旨)
1	日本維新の会 無所属の会 村 田 光 隆	1 学校体育館の空調使用について 2 マイナンバー制度開始10年を迎えて 3 物価高騰対策として本市ができること
2	自 民 ク ラ ブ 天 野 俊 宏	1 本市の都市基盤整備について 2 スポーツ並びに文化の振興について 3 京都ハンナリーズとのホームタウンについて 4 戸籍の氏名への振り仮名記載について
3	公 明 党 議 員 団 福 田 正 人	1 フードロス削減について 2 本市の観光政策について
4	M U K O ク ラ ブ 近 藤 宏 和	1 向日市を教育先進地に 2 ストップ！不法投棄！きれいなまちの維持に向けて
5	明 日 の 向 日 林 リ エ	1 こどもの食を地域で守る『フードリボンプロジェクト』について 2 永守重信市民会館の市民団体活用等について 3 『地域防災計画』の重要性と『防災会議』等について
6	日本共産党議員団 丹 野 直 次	1 向日町競輪場敷地の再整備に係る住民説明会について 2 阪急バス路線廃止から公共交通の充実を図ることについて
7	日本維新の会 無所属の会 長谷川 愛	1 京都アリーナ（仮称）における医療の視点について 2 スポーツを通じた地域活性化について
8	明 日 の 向 日 杉 谷 伸 夫	1 京都府のアリーナ整備に向日市と市民の要望は反映されているか 2 国民健康保険の全被保険者に資格確認書を交付することについて 3 市民の問合せ・要望は、市役所の中でどのように扱われているか
9	日本共産党議員団 北 林 智 子	1 私道の道路整備を円滑に進めやすくすることについて 2 中高生、子どもたちの居場所・遊び場がほしいの願いを実現へ 3 障害年金について
10	日本維新の会 無所属の会 青 山 まゆみ	1 向日市のまちづくりに関する市民アンケート等について 2 アリーナ計画について 3 第3次ふるさと向日市創生計画について

1 1	日本共産党議員団 米 重 健 男	1 第3次ふるさと向日市創生計画について 2 火災予防について 3 地域の課題について 4 被爆80年について
1 2	日本維新の会 無所属の会 松 本 みゆき	1 青少年健全育成の在り方について 2 向日市のスポーツ推進の在り方について 3 向日町競輪場の再整備について
1 3	日本共産党議員団 山 田 千枝子	1 物価高騰対策及び国政に関わる諸問題について問う 2 学童5・6年生の受け入れストップの問題について 3 特定外来生物クビアカツヤカミキリなどの発生による防虫対策及び危機管理周知やマニュアルについて

一般質問通告書

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項(質問の要旨)		
1. 学校体育館の空調使用について	昨年6月の定例会で、小中学校の体育館に設置された空調機器の運用ルールについて、質問させていただいたが、これから決めていくとのことであった。 今年の夏も猛暑が予想され、いつから使用できるのか市民からの問い合わせが寄せられている。 体育館での授業、部活動での使用や一般開放での料金や使用方法、災害で体育館が避難所として設置された場合の運用ルールを開始時期も含めてお聞きする。		
2. マイナンバー制度開始 10 年を迎えて	マイナンバー制度が始まって 10 年が経とうとしている。 健康保険証、運転免許証をそれぞれ持っていたのが、マイナンバーカード 1 枚で済むようになった。 またコンビニエンスストアでの住民票の写しや印鑑登録証明書も窓口よりも安く取得できる。 確定申告の際、書類を税務署に届けるか、郵送していたものが、自宅でできるようになった。 さらに銀行口座や証券口座を開設する際は、必ずマイナンバーカードの提示が必要になり、カードの取得が必須となってきている。 これまで、市のホームページや広報を通じて、制度の啓発活動を行っていただいているが、いまや持っていないと不便であるカード取得への啓発を制度開始 10 年に合わせて行っていただきたいがいかがか。 神戸市では「マイナンバーカードでできること」として、図書館で本の貸し出しを行っている。 本市でも使えるようにできないか。 制度が開始された 10 年前に取得された方が更新時期を迎えようとしている。 窓口での混雑が予想されるが、対策をお伺いする。		

3. 物価高騰対策として本市ができること	昨今の世界的な物価高騰は、新型コロナウイルスの爆発的感染を発端とし、ロシアのウクライナ侵略でさらに拍車をかけ、収束するどころか収まりを見せる気配もない。 さらに円安に加え、鳥インフルエンザの流行、天候不順による野菜や嗜好品であるコーヒー豆やカカオ豆の高騰、米の需給ひっ迫、トイレットペーパー等ありとあらゆる生活必需品の値上がりが繰り返し行われている。 一方で国の税収は過去最高を更新しているが、政府の物価対策はできない理由を並べ立てて右往左往するばかりである。 本市では、1期分の水道および下水道の料金減免措置や小中学校の給食費負担軽減、非課税世帯への給付金が支給されている。 上下水道料金の減免は全世帯へ恩恵があるが、給食費や非課税世帯への給付金は限られた市民だけ恩恵を受けることができる。 物価高騰対策として本市ができることはあるかお聞きする。 おこめ券を配布している自治体もあるが、本市でも検討していただけないか。
-----------------------------	---

一般質問通告書

質問者氏名	天野 俊宏	所属会派名	自民クラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 本市の都市基盤整備について	必ず実現しなければならない都市基盤整（阪急京都線連続立体交差事業と東向日駅周辺整備など）について伺う 1. 阪急京都線連続立体交差事業は、京都府との負担割合が大阪府などと大きな違いがあるとのことだが、実際に府との負担割合についての要望や交渉はしているのか？ 2. 同じく、国への要望について、起債の償還期間の延長などは伝えられているのか伺う。 3. この連続立体交差化事業について、優先順位的な位置づけとしてはどのくらいのランクとしているのか？ 4. 連立、駅周辺整備のための基金について伺う。 5. アリーナ整備に伴い、都市計画道路御陵山崎線 B、C 工区の整備と大原野口交差点の改良が示されたが、この他の府道整備についてどのように考えているか伺う。		
2. スポーツ並びに文化の振興について	令和10年度の「京都アリーナ（仮称）」の整備に伴い、計画等の見直しなどについて伺う 1. 10年毎の見直しの向日市スポーツ推進計画について、来年が5年の中間年となり、アリーナ整備が決定される中、毎年ふるさと向日市創生計画での見直しだけでなく、向日市スポーツ推進計画自体の見直しが必要と思うが如何か。		

	2. 「京都アリーナ（仮称）」整備に伴い、文化面もより一層の強化や振興が必要と考えるが如何か。
3. 京都ハンナリーズとのホームタウンについて	府内全市町村とのホームタウンについて伺う 1. 次年度から、京都府下全 26 市町村が京都ハンナリーズのホームタウンとなることが決定し、5 月 3 日にお披露目セレモニーを島津アリーナ京都で実施されたが、具体的にどのような内容のものになるのか伺う。 2. 競輪場内への京都アリーナ（仮称）の整備が決定したが、本市としてはもう一段階踏み込んだ協定などを結んでプロスポーツを身近なものとする必要があるのではないかと思います。所見を伺う。
4. 戸籍の氏名への振り仮名記載について	5 月 26 日に施行された戸籍法の一部改正により、戸籍にフリガナが記載されることについて伺う 1. フリガナの確認通知が順次、本籍地の自治体から各世帯に届くとの事であるが、本市としては、いつ頃の通知予定であるか伺う。 2. 間違っているときのみ訂正するとのことだが、間違っている人が訂正をしなかった場合はどうなるのか？ 3. 法務省は、訂正などの届出はマイナポータルを推奨しているようだが、これ以外の届出方法はどの様になっているか伺う。 4. この制度の円滑な導入について、コールセンターなどを設置する自治体もあるようだが、本市としての対応はいかがか？

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	福田 正人	所属会派名	公明党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1 フードロス削減について	2025年、今年の商品の値上げは14000品目とされ、昨年を上回るとされる。中でも米の価格高騰は国民の生活に大きな影響を与えている。その一方で、コンビニ各社では米飯の大量廃棄が問題となっているが、国の一般廃棄物の排出及び処理状況等を見ると減少の傾向にある。そこで質問を行う。 ① 本市の一般廃棄物の排出量の変化は如何か。さらに物価高騰の影響は見られるのかを伺う。 ② 一般廃棄物のリサイクル化の状況と、更なる減量の施策を伺う。 ③ 一昨年より、指定ゴミ袋の値上げを行う自治体が見られる。本市の値上げの考えを聞く。 ④ 現状の食品系廃棄物の処理方法と、サーキュラーエコノミー（循環経済）の観点から、廃棄物の肥料化等についての考えを伺う。 ⑤ フードロス対策として、向日市まつりで実施されていた「フードドライブ」を京都アリーナ（仮称）にて実施する考えについて伺う。 ⑥ 近年、災害備蓄飲料のペットボトルの賞味期限が5年から10年の製品がある。本市の備蓄用のペットボトルは賞味期限はどの程度のものか。 ⑦ 期限の迫ったペットボトルは災害訓練等で配布されているが、残りはどのように処分しているのか。 ⑧ 近年、賞味期限が迫った飲料製品を自治体庁舎内での自販機にて、低価格で販売を行う所がある。フードロスやごみ減量対策に有効と考えるが、本市の考えを聞く。		

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	福田 正人	所属会派名	公明党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
2 本市の観光政策について	日本人観光者は物価高騰により、旅行費用の縮小が見られる中、近郊観光から地方へと広がりを見せている。国は訪日外国人観光者数を大きく伸ばす目標を掲げている。観光のニーズはモノの所有から、自然や文化、アクセシビリティ（活動や行動）を複合的に楽しむ「アドベンチャーツーリズム」に移行する傾向にある。観光客の少ない地方の魅力ある資源を磨き上げて、観光客誘致を推進すべきである。それには滞在のためのホテル等の施設が必要である。そこで質問を行う。 ① 2028年開業予定の京都アリーナ（仮称）を本市の観光戦略にどのように位置付けるのかを伺う。 ② 現在開発中の洛西口西部地区の計画に見直しがあるのか、ホテルの誘致は観光戦略に重要と考えるが如何か。 ③ 第3次ふるさと向日市創生計画に、引き続き名神高速スマートインター開設に向けた検討とある。京都市との協議が進まない状況と伺っているが本市の観光戦略上必須と考えるが如何か。 ④ 全国のパーキングエリアやサービスエリアの施設内外で観光シーズンや土日に地元産特産品の販売会等が行われている。桂川パーキングエリアでも行われている。本市においても市のアピールと観光客誘致のため、実施を検討すべきと考えるが如何か。		

一般質問通告書（分割）

質問者氏名	近藤 宏和	所属会派名	MUKO クラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 向日市を教育先進地に	子どもたちにとって、何が必要なのか。毎年、真剣に議論する必要がある。 ①小中の接続を重視した外国語教育の実施について本市が目指す外国語教育の未来図を教えてください。 ②読書活動を通じた創造力・表現力等の育成に向けて、例えば、小学生1人に2,000円のマイブッククーポンを配布し、読書に親しむ環境作りも必要ではないでしょうか。本市の見解を伺います。 ③授業のユニバーサルデザイン化により、『授業が変わる』『子どもが変わる』『教師が変わる』とも言われています。 具体的には『脳の認知ネットワーク』を意識して、デジタル教科書やデジタルコンテンツ等の利用により、授業で視覚的な教材提示を多くしたり、黒板に授業内容のキーワードをカラーで掲示したり、子どもたち相互の発表の時間にキーワードをプロジェクターで提示したりされています。同様に『脳の感情ネットワーク』、『脳の方略ネットワーク』という2つのネットワークを意識し、授業に取り組まれています。 本市では、どのような工夫をされているのでしょうか。その上で、子どもたちにどのような変化を期待されているのか。見解を伺います。④教育支援センターを中心とした不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実につ		

	いて、具体的に教えてください。一方で、児童生徒にとって魅力があり、行きたくなる学校づくりも必要だと考えます。本市が考える、行きたくなる学校づくりについての見解を伺います。
2. ストップ!不法投棄!きれいなまちの維持に向けて	不法投棄を撲滅させる方法や環境について議論する必要がある。 ①今年、いわゆる粗大ゴミの不法投棄は何件あったのでしょうか。時期、場所、量について具体的に教えてください。現状、減少できない理由を具体的に教えてください。 ②ゴミのリサイクル率は近年、20%程度（全国）で推移していると言われています。 本市のゴミのリサイクル率は何%でしょうか。 ③大型家具等のリサイクルキャンペーンを半年に1回のペースで定期的に行うことで、大型ゴミとなる前にリサイクル品として手放すきっかけになり、リサイクル率もアップし、不法投棄も減少するのではないのでしょうか。本市の見解を伺います。 ④ゴミ拾いをしていると、溝とかいわゆる隙間にポイ捨てがされているのが散見されます。スマートゴミ箱の設置にはまだ至らない程度だと思いますが、対策として、『たけのこりん』がお知らせしているような形で廃棄物処理法の罰則の看板設置や来月から実施する路上禁煙に関する啓発の看板設置等はいかがでしょうか。本市の見解を伺います。 ⑤乙訓全域でゴミの問題は取り組まなければなりません。大変時間がかかることが想定されますが、きれいなまち向日市を成し遂げ、循環型社会の実現に向かう必要があると考えています、本市の見解を伺います。

一般質問通告書 分割

質問者氏名	林 リエ	所属会派名	明日の向日
表 題	質問事項（質問の要旨）		
1. こどもの食を地域で守る『フードリボンプロジェクト』について	ひとり親世帯の貧困率は 44.5%と 2 人に 1 人が貧困状況にあるといわれています。令和 7 年度、本市としても『こどもの生活・学習支援事業』（年間 20 名）がスタートしましたが、地域社会が一丸となりこどもの食を守ることが出来たらと願います。『フードリボンプロジェクト』とは・・・ 飲食店を利用するお客さんが、1 つ 300 円のリボンをこどもの 1 食分として購入し店内に掲示します。こども達はその提示されたリボンを 1 つ手に取り、1 食分の食事ができるといった地域みんなでこどもたちを支える新たな飲食店によるこども食堂の取組です。飲食店が通常営業の中で実施していただけることから、こども食堂の開催日も大幅に増え、フードロスの削減にも寄与するプロジェクトであると考えます。 事 項（質問・提案等） 1・本市におけるこどもの食支援の現状と課題についてどのように認識されていますか？ 2・『フードリボンプロジェクト協会』と協定を結び、この取り組みを後押しできないでしょうか？		
2. 永守重信市民会館の市民団体活用等について	向日市出身のニデック株式会社永守重信氏のご寄付により令和 5 年 2 月 8 日にオープン致しました『永守重信市民会館』。向日市民会館の設置及び管理に関する条例第一条には『市民の文化・芸術の振興と生涯学習環境の充実を図ることを目的として市民会館を設置する』と記されています。 市民活動をより活発に実施しやすい環境を整えることは本市の将来にも大きく影響すると考えます。 事 項（質問・提案等） 1・市民団体の利用料金加算について 本市は参加費を 1 円でも徴収すれば、会場費加算 2 割増し対象となります。この設定価格は設置目的である市民活動、生涯学習環境の充実に寄与するとお考えでしょうか？ （説明）条例では市内自治会や、市が関係する団体の利用料は無料となっていますが、市民活動は対象になりません。他市町では 1001 円～の加算や、市民団体であれば加算なし等の配慮があります。 2・キャンセル料について 本市では 3 か月前に予約・入金。その後のキャンセルは受け付けないとされています。過去の答弁の中でも 2 件のキャンセル料金 4 万 150 円還付しなかったと記されています。利用する側の市民の立場に立った際に、会議室のキャンセル料については制度を見直してはいかがでしょうか？		

	(説明) 他市では予約日の一か月前・一週間前なら全額返金・半額返金等還付される仕組みがあります。 3・当日利用等について 本市では利用したい日時の3日前までに申請しなければ利用が出来ません。この理由から利用日当日の時間前に部屋が空いていても利用することが出来ません。改善することは出来ないのでしょうか？ 4・土日祝の運営体制について 京都府内8市をリサーチした結果、指定管理者に委託していないのは向日市だけだった。指定管理者は職員・パート関係なくシフトを組んでいるが本市の場合、土日祝は正規職員は出勤しておらず、全て会計任用職員が担っている。 管轄が市長であり、市役所も休館の中、大きなイベント含め利用者が多いのも土日祝であり、迅速な判断が必要なことを考えれば、職員皆でシフトを組む必要があると考えるが市の見解をお聞かせください。
3. 『地域防災計画』の重要性と『防災会議』等について	地域防災計画は、災害対策基本法第40条、第42条に基づき各地方自治体の長が『防災会議』にはかり、防災のために処理すべき業務などを具体的に定めると記されています。発災の際には地域防災計画を元に、全ての機関が動く大変重要な計画書だと認識しています。 本市は昭和40年7月24日に策定され、約60年間の間に44回修正を加え、直近の修正は令和6年3月26日です。災害に強い向日市を皆さんと共に創りたいと願っています。 事 項 (質問・提案等) 1・『防災会議』に学識者が必要だと感じますが、市の見解をお聞かせください 2・本市では議事録を開示している会議が全庁で33存在します。その中で『防災会議』のみ令和元年～令和5年度すべてにおいて『書面会議』となっていますがその理由をお聞かせください。 3・令和3年度はコロナ禍でリアル開催せずに『書面会議』を実施している部署もありましたが、『書面会議』でも委員から出た意見や配布された資料が添付されていました。しかし『防災会議』のみは審議結果のみ記され、議事録はないと伺っております。委員や専門家からどのような意見が出たのか、検討されたのか、その際の市の見解も知ることができません。大規模災害が起こる確率が高まる昨今、このままでよいのでしょうか？市の見解をお聞かせください。 4・令和7年3月に『第3次ふるさと向日市創生計画』が発表されました。この中に『自主防災組織』や『消防団活動』を支援し、災害への対応能力向上を図るとありますが、対応能力向上のための施策や方法があればお聞かせ下さい。

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	丹野 直次	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 向日町競輪場敷地の再整備に係る住民説明会について	（1）計画イメージ図を拝見して驚いたこと ①コンビニ（ファミリーマート）が専用駐車場付きで配置されていたが、公共施設の土地使用にあたっての貸借関係はどうか。京都府に対し新コンビニのスペースは広場にするよう要望していただきたい。 ②向日町会館は建て替えると思っていたが、配布されたイメージ図にはなかった。向日町会館の有無について伺う。 ③競輪場再整備図は正確さを欠いている。平面図、立面図をなぜ示せなかったのか。府は8会場の説明会のまとめを行っていると思うが、説明会の件について報告を受けておられるか。市は今後どのような対応されるのかをお尋ねする。 （2）交通渋滞解消に抜本対策を求めること （3）京都府公共事業事前評価実施要綱に定められた要件を満たしておらず適切な手続きがされていない問題について （4）都市計画の地区計画の変更について、緑地の変更の影響として住環境の影響を考える必要がある。向日市の都市計画審議会の開催スケジュールとまちづくり審議会の開催予定は。 （5）住民のご意見要望を聞き入れる相談窓口の設置について （6）向日市競輪対策協議会の開催について 昨年度は開催されていない。開催されなかった理由と今年度は京都府からも競輪場再整備の事業計画を説明すべきだ。		

2. 阪急バス路線廃止から公共交通充実を図ることについて	阪急バスは6月1日より東向日駅発の大原野線の小塩・善峰寺への66系統一日4便（午前10時・12時・14時・16時各27分発）の路線を廃止すると告知されています。昔からあった京都西山の観光のひとつである名刹の十輪寺、善峰寺行きなどがなくなること、寺戸町大牧東山バス停と復路の向日台、市役所前のバスも減便した。 ①路線バスがなくなり路線バスは衰退の一途をたどっている。阪急バスの6, 77, 78, 80号がなくなり6月より善峰寺行きの66系統が廃止されたとしたら向日市内だけで廃止の路線距離数と何か所のバス停がなくなったのか。バス路線が廃止された路線名と廃止年月をお尋ねします。今後路線バス運行に対して向日市の考え方としてどうするのか。 ②次の「向日市地域公共交通会議」の開催の予定と公共交通充実に向けた基本的方向性について。前議会において「ぐるっとむこうバス」の利便性向上に向け高齢者70歳以上の乗車割引を検討するよう次の地域公共交通会議の議題で審議していただくとの回答がありましたが、現在200円の料金を100円にすることに期待があります。そのことを含めた乗り継ぎの改善についての検討課題とJR向日駅東口に新たな公共交通機関（路線バス）の乗り入れ計画と乗客確保をどうするのか伺います。
-------------------------------------	--

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	長谷川 愛	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 京都アリーナ(仮称)における医療の視点について	1. 京都アリーナ（仮称）について、要望は以前から行っているが、向日市にやってくる施設としての思いや理想、お考えを伺う。 2. 地域防災拠点としての機能をより具体化するために、これまで医療的ケアや心の支援といった視点を取り入れた提案などあったのか、また要望として入れていただけるものか。		
2. スポーツを通じた地域活性化について	1. 向日市としてのスポーツ推進について、今後の在り方を伺う。 2. また、京都アリーナ(仮称)の整備に伴い向日市として地域のスポーツ振興や、商業との連携による地域活性化をどのようにこの機会に活かしていくのか伺う。		

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派名	明日の向日
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 京都府のアリーナ整備に向日市と市民の要望は反映されているか	京都府が住民説明会を行ったが、市民の懸念に答える内容ではなかった。今年1月に向日市長は市民の要望をもとに、緊急要望書を京都府に提出されたが、要望は反映されたか、市民の懸念は解消されたか、市の見解と今後の取り組みについて伺います。 （1）向日市の緊急要望書の内容から市の見解を伺う 1. 「安全かつ円滑なアクセスルートの確保」について ① 16年ほど前、府道向日町停車場線を都市計画道路に指定し、拡幅整備にむけた住民説明会も行われたが、見送られた。その理由は何か？またこの拡幅整備の計画は、まだ生きているのか？生きているならば、今後どうする考えか。 ② アリーナへのメインアクセスルートとなる府道向日町停車場線の整備をしなくても、来場者と地域住民の安全は守られると向日市は本気でお考えか。 2. 市民が憩うことのできるスペースや広場、緑化された遊歩道の確保について 3. 地域の声を十分に把握した上で、引き続き地域住民への丁寧な説明と情報の提供について （2）向日市は、アリーナ整備事業に主体的にどうかかわるのか？ 1. アリーナ施設の概要について説明がされた今後は、それに対する市民の声を把握し、市民への丁寧な説明と情報の提供を行う責任は向日市にあると考えるが、市の認識を伺う。 2. 説明会で市民の懸念の多くが解消されていない。市民の懸念に答える説明を、京都府と連携して今後行っていただきたい。今後の見通しを伺う。		

2. 国民健康保険の全被保険者に資格確認書を交付することについて	向日市の国民健康保険証は、今年12月1日が有効期限です。現在の仕組みのままだと、健康保険証の期限切れ後に大きな混乱が予想されるため、後期高齢者医療保険と同様に、マイナ保険証の有無に関わらず、国民健康保険の被保険者全員に資格確認書を交付するようにすべきではないか。 1. 向日市の国民健康保険証は、12月1日に有効期限を迎えるが今の仕組みのままだと市民も市役所も医療機関にも大きな混乱が起きるのではないか。 2. 後期高齢者医療保険に続き、向日市国民健康保険の被保険者全員に対して資格確認書を交付することを検討いただきたいが、いかがか。
3. 市民の問合せ・要望は、市役所の中でどのように扱われているか	市民から市役所によせられる問合せ・要望等は、市政改善へのヒントを与えてくれる貴重な情報です。届けられた市民の声は、市役所の中でどのように扱い、市政の改善に生かされているかについて質問する。 ある向日市民が「マンション管理計画認定制度について市役所に問い合わせたけれど、向日市には制度がないといわれた。向日市でもぜひ実施して欲しい」との要望がされたが、都市整備部長は「市民からの具体的な問い合わせなどが無い」と議会答弁された。住所、フルネーム、連絡先を述べられなかっただという。向日市役所ではこのような運用をしているのか。 1. この件に関する見解を改めてお示し頂きたい。 2. 向日市行政全体でも、市民の問合せ・要望について同様の対応をしているのかどうか、市長の答弁を求める。 3. 市への問合せ・要望・苦情など市民から寄せられる声は、向日市行政改善への貴重な情報提供や提言であり、大切に扱うべきだ。向日市では、寄せられた市民の声は、どのように取り扱うルールか。

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	北林 智子	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1、私道の道路整備を円滑に進めやすくすることについて	私道の舗装や側溝を整備をする場合、向日市私道整備事業補助規則による制度を利用して行うことができるが、要件を満たすことができないと、長年改修できないままに放置せざるを得ず歩行者の安全が非常に心配である。その改善策について伺う。 (1) 私道の破損状況などについて把握はできているか。 (2) 経年劣化の箇所が増えることや高齢化や町内会の加入率の低下などの時代の変化を考慮し、私道整備事業補助規則のさらなる要件緩和、追加をすることはできないか。 ① 工事費5万円以下でも対象とすること。(規則 第3条2(3)) ② 手続きなど事務作業、権利人、所有者不明の調査に対する支援を行うこと。 ③ 未整備の私道でも本人が改修するのが特別に困難な理由がある場合、市へ寄附を受け付けること		
2、中高生、子どもたちの居場所・遊び場がほしいの願いを実現へ	子どもたちが向日市で生活する中で、ボール遊びができる公園がほしい、集中できる場所で勉強したい、居場所がほしいなど様々な要求がある。私たち大人は、どれだけ子どもの声に耳を傾けられているか。 子どもの権利条約が発足してから5月で31年、子どもの権利が根付いたとはいえない日本社会であるが、22年にこども基本法が成立して、こどもは権利の主体だと明記され、前向きな影響をもたらしている。意見表明と参加・パートナーシップの関係へと子どもと大人の関係をより良く創造していくことが求められている。まずは、子どもたちの声をしっかり受け止め、出来る事から実現させていきたいという思いから質問する。 1、子どもたちが、のびのびボール遊びや鬼ごっこなどができる公園について、今後の見通しを伺う。 2、中高生がテスト勉強や受験勉強を落ち着いてできる場所がほしいという声がある。いつでも必要な時に使える居場所を、寺戸公民館をはじめ、他の場所にも増やすことを検討して頂きたいがいかにか。		

3、障害年金について	昨年より、不支給割合が2倍に増えているという報道がある。就労が厳しく、収入が少ない障がい者にとってはまさに「命綱」であり、深刻な問題であるとする。 ① 判定機関は、日本年金機構ですが、不支給となった対象者についての情報が関係機関より本市に提供されるか。 本市の23年、24年の障害年金の裁定請求数、受給数、却下された数を聞く。 ① 市の相談窓口はあるか。相談対応は、どのようにされるのか。 ③ 報道のような事案があった場合に適正な支給がされるよう、本市からも国へ働きかけて頂きたいがいかがか。
------------	---

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	青山まゆみ	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 向日市のまちづくりに関する市民アンケート等について	令和6年7月、本市のまちづくりに関する市民アンケート調査が行われました。 市民の皆様が日頃感じておられることを把握し施策の推進に反映する事が目的です。 今回のアンケートは有効であったか伺います。 （質問・提案） (1)調査方法について 抽出数、実施期間、調査方法はどのような理由で決定されたのか、また、回収にはどれぐらいの期間がかかったのか伺います。 (2)調査の回収状況について 今回の有効回収率は39.4%となっています。 目的に対しこの回収率についてどのように評価されますか。低いのか、高いのかも含め伺います。 (3)今回の「第3次向日市ふるさと創生計画」において、紙のアンケートの方法以外の手法は考えておられていたか伺います。 (4)今後、市民や対象者の意見を正確に把握する必要がある場合、郵送以外の手法などは、考えておられるか伺います。 (5)身体的事情等により「声を届けにくい」と感じておられる方々にはどのようにアンケートを利用して頂くかについてのお考えがあれば伺います。		

表題2 アリーナ計画について	(質問事項) 府のイメージパースの理想図と今の現在の道路状況の現実との差異に不安を感じておられる事と思います。 (質問・提案) (1)本市はこの差異をどう思われているのか、また、差異を無くす為のお考えを伺います。 (2)府に本市が出された要望はどれ位取り入れられているとお考えですか。伺います。 (3)このアリーナ計画においての本市の課題は何ですか。駅の周辺整備は伴っていくものなのでしょうか。また、課題解決を市民に周知されるお考えはありますか、伺います。
表題3 第3次ふるさと創生計画」について	(質問事項) 今回の計画について、抜粋して何点か伺います。 (質問・提案) (1)子育てに関する、経済的な負担の軽減の取り組みは、この物価上昇のいま、なぜ取り入れなかったのでしょうか。伺います。 (2)道路環境に現在でも市民の不安が感じられます。市民は安全性の高い生活道路の取り組みが大切と感じておられます。このことについてどうお考えか伺います。 (3)計画より遅れている取り組みを今後どうされますか。伺います。

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米重 健男	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1, 第3次ふるさと向日市創生計画について	本年度より第3次ふるさと向日市創生計画を策定した。パブリックコメントに寄せられた市民の意見を基に本計画についてうかがう。 1, 森本東部、洛西口駅西側などの現行の開発地域や、京都アリーナ（仮称）の記載がない。それぞれの記載時期はどの時点が適切と考えているのか。 2, パブリックコメントで出た意見を踏まえ、どのような変更を行われたのか。 3, パブリックコメント「市の考え方」No.3で、「計画や施策に上下や優劣はなく、どれも重要なもの」としている。第2次計画まで最上位計画とされていたが、変更の経過及び理由はどのようなものか。 4, No.19で、ギャンブル施設対策として「競輪場に限らず、ゲームセンターや大型商業施設等に特段の理由もなく子どもだけで立ち入らないよう指導しており、今後も状況を見ながら指導を継続してまいります」とある。アリーナもこの方針を採るのか。 5, No.9、No.22で、東向日駅周辺について、「駅前広場や駅西側の市道の拡幅整備につきましては、阪急電鉄のご理解とご協力が不可欠であり、阪急京都線連続立体交差と一体で整備を進める必要があります」とあるが、「一体で整備を進める必要がある」とは阪急電鉄が阪急京都線連続立体交差を具体的に計画するまでは整備ができないということか。 6, No.27で、「乙訓消防組合は、はしご車を保有しており、向日市での中高層建物火災に対しても出動する計画となっております」とあるが、乙訓消防組合のはしご車は35mであるが、洛西口駅、東向日駅付近のマンションでは40m超、JR向日町駅に計画中のタワーマンションでは128m、森本東部地区のニデック社屋では約50m、と対応できる上限を上回っている。「機能・体制を十分に活用する」とはどのような状況を想定しているのか。		

2, 火災予防について	令和 5 年から 7 年にかけて本市において火災が相次いだ。火災原因などは様々であるが、出火元における共通の特徴として、高齢者のひとり暮らし世帯であったと言う事が挙げられる。また、乙訓消防組合によれば火災報知器が設置されていない世帯が多かったとの事である。 1, ひとり暮らしの高齢者への対応について 火災報知器の設置補助や手続きの補助など支援が必要と考えるがいかがか。 2, 要配慮避難者名簿の活用について 要配慮避難者名簿の火災予防における活用はどの様になっているのかうかがう。
3, 地域の課題について	1, JR 深田川踏切と地下道の安全対策 24 年には人身事故が 2 件、本年に入ってから車や人の立往生による列車の遅延が起こっているなど危険な状態である。 踏切横の地下道は進入路の傾斜がきつく高齢者が自転車を押すか、押し車などを使って上る事は困難である。 東西を結ぶ動線を確保しようと思えば踏切か地下道の改修が必要であると考えますが、市としてどのような対策を持っているのかうかがう。 2, 第 3 保育所跡地について 前回の質問からちょうど 1 年が経過した事から、現在の進捗についてうかがう。
4, 被爆 80 年について	80 年が経過し、被爆者の方が減っていく中で、被爆の実相について記憶を継承し伝えていく取り組みで、改めて被爆二世という課題について聞く。政府は被爆による健康面での問題は子どもには影響しないとしている。実際には二世は親の被爆者と同じような健康障害や不安を抱えている実態がある。 1, 本年 1 月に武蔵野市で平和首長会議総会が開催されている。総会へは出席されたか。また、総会の感想や他の自治体の取り組みなどについての見解をうかがう。 2, 被爆二世の健康問題についての見解をうかがう。 3, 被爆樹の植樹時期、場所についてうかがう。 4, 「平和と人権のつどい」で 2024 年度大和大学社会学部卒業制作作品「いま戦争を語る～大阪豊中、体験者たちの証言～」を上映されてはいかがか。

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	松本 みゆき	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 青少年健全育成の在り方について	（１）本市の青少年健全育成に関する取り組みについて 現在、本市における青少年の健全育成をめぐっては、携帯電話やインターネットの普及により、青少年と犯罪との距離が以前にも増して近くなっているという課題がある。こうした現状を踏まえ、今後、本市としてどのような視点で青少年の健全育成に取り組んでいく必要があると考えているか。あわせて、現在実施あるいは検討されている具体的な施策等について、理事者の見解を伺う。 （２）向日市少年補導委員会の在り方について 本委員会の規約に、委員への委嘱は市長から行うこと、また事務局を市に設置することが明記されていることから、委嘱は依然として現在も市長が行い、事務局機能は市役所が担っているという体制が続いている。本委員会は警察の関連組織である一方で、本市における社会教育団体であるという性質から、制度上・運営上の矛盾が生じているともいえる。 本委員会の規約に、委員への委嘱は市長から行うこと、また事務局を市に設置することが明記されていることから、委嘱は依然として現在も市長が行い、事務局機能は市役所が担っているという体制が続いている。本委員会は警察の関連組織である一方で、本市における社会教育団体であるという性質から、制度上・運営上の矛盾が生じているともいえる。 さらに、現時点で向日市内８地区のうち複数の地区から「本市全体の組織からは外れたい」との意向があるとも聞き及んでおり、今後は市域全体をカバーすることが難しい状況になることも懸念される。 ① 少年非行の実態や補導対象となるケースが減少傾向にある中で、市長が補導委員を委嘱し、市が事務局を担う現行の体制について、規約を変更できるか否かの懸念点もあるが、私の考えとしては、今後も現行の活動形態を維持する必要があるか、それとも再編や見直しの余地があると考えているか。		

	② 市域全体での活動について 今後、向日市少年補導委員会としての活動参画地区が減少した場合、市域全体をカバーするためには、交番等を拠点とした警察とのさらなる連携を図りつつ、新たな仕組みの構築や制度設計の見直しが必要ではないかと考える。また、地区での活動も市域全体の活動も公平に行政にはサポートをしてもらいたいと考える。市の見解を伺う。
2. 向日市のスポーツ推進の在り方について	(1) 指定管理事業者について スポーツ文化協会のこれまでの運営に対して、評価している点、課題、これから求める担いと役割についてどのように考えているか？ (2) 指定管理事業者と議員との関係性について 議員が関わる本市の議員連盟には、議会の総意として設置して議会事務局が関わる議員連盟と、一部の議員有志で組織化するいわゆる「勝手連」の組織とに二分される。現在本市においてスポーツに関連する議員連盟は議会で承認した議員連盟は存在していない。向日市からの委託を受けている指定管理事業者として、それぞれの議員に対して公平中立に対応し業務運営を徹底できているか、本市は指定管理事業者が行う事業全般に対して、管理監督・指導をしっかりと行うことができているかどうか？伺う。
3. 向日町競輪場の再整備について	(1) 競輪対策協議会について 本協議会は直近では令和6年2月に開催されたのち現在まで開催されていない。今後、本協議会は現行のままで良いのか？向日町競輪場が再整備されることに伴い、今後発展的展開を考えているのか、本市の考えを伺う。 (2) 向日市の誇れるシンボルにする為の取り組み この度5／14からプロポーザルの概要が公表された。アリーナ整備費約380億円にプラスして競輪場再整備に別途約105億円の予算規模の事業が計画されている。これらの整備に伴う府道整備など、総額500億円にも近い府民の税金を投じる事業である。自治体間における競争が増す中、府が本市のまちづくりに多額の投資を決定したことは大変ありがたいが、一方で今後市長は市民の理解を得て市民とともに事業を行う姿勢を示し行動していくことが求められる。このような大規模事業を迎える自治体として今後市民へどのような働きかけや取り組みを検討しているか伺う

一般質問通告書

総括質問

質問者氏名	山田千枝子	所属会派名	日本共産党議員団
表 題	質問事項（質問の要旨）		
1 物価高騰対策及び国政に関わる諸問題について問う。	自公政権が物価高騰対策で無為無策に陥るもと、国民・市民要求は消費税減税が熱い焦点に浮上し、大争点となっている。また国連憲章と国際法、貿易ルールを無視するトランプ政権に世界から怒りが広がり、アメリカのいいなりを続けていいのかも熱い焦点となっている。日本共産党は消費税廃止をめざし、緊急に5%への減税と財源は国債でなく大企業と富裕層へのこれまでの減税・優遇を見直すことで恒久財源を提案。 1. 消費税減税について市長はどのように考えるか。5%になれば本市の支出は年間いくら減るか。米高騰に市民は悲痛な声をあげている。前江藤農水大臣は「米買ったことない。支援者の方々が下さり、売るほどある」との発言にあきれ返るばかり。 2. 国の米不足について市長は国に何もいわないのか。江藤前大臣の発言どう思うか。 3. 米価格の高騰対策で市のできることを考えているか。 4 物価高騰対策として、もう一期分の水道料金の減免をできないでしょうか。 5. 市の介護事業所の実態調査及び乙訓地域の病床数のこの間の調査を。 6. 西田自民党議員のひめゆりの塔発言の内容が間違っていないという発言について市長はどのように考えるか。		

2. 学童5・6年生の受け入れストップによる対策について	図書館の2階に学童5・6年生の自習室がつくられる。 1. 図書館自習室は50人位の人数が利用できるか。またおしやべりができるか。図書館2階の自習室には常時誰か配置されるか。利用の際の登録などはどうか。 2. 利用できるのはどこの公民館・コミセンの部屋なのか。行っても利用できないことはないか。5・6年生の留守家庭児童対策としての部屋の確保がされているか。 3. グランドは自分の通う小学校でなくても、いつでもどの小学校のグラウンドを、学童5・6年は利用できるか。 4. 夏休みまで約1か月半、これら図書館・公民館・コミセンやグラウンドの利用について、広報や保護者や市民に周知して頂きたいがどうか。
3. 特定外来生物クビアカツヤカミキリなどの発生による防虫対策及び危機管理周知やマニュアルについて	春の桜が咲きかけている時、近くの公園（飛竜）の桜の木が切られていると連絡があり、見に行き公園担当に聞いたところ、クビアカツヤカミキリが見つかり伐採したとのこと。またもう一か所の公園（笹屋）も切られていました。以前JR向日町駅前西側ふれあい広場で発生を聞いた時、市内の発生状況を調べていると聞いてはおりましたが、50年以上前から桜を楽しみにされていた市民の方々は、もう見られないと非常に残念がられている。ホームページなどで掲載されていますが質問します。公園担当の方からは、切り株をブルーシートで根を密封して駆除すると府の指導通り飛沫対策を行っているとのこと。 1. 特定外来生物に対する市の危機管理マニュアルについて。また対策効果はでているか。 2. 発生箇所の伐採時の市民周知および日常的に広報などの周知について。 3. 向日神社のカシノナガキクイムシ防虫対策のシートの改善について。